

2015年1月24日（土）

入笠山

入笠山ハイクはクマさん会では22回目の山行となり、今回は入門編の雪山ハイクである。

参加者は7名の予定で、岡部さん、布目さん、根岸さん、能勢さん、吉松さん、堀さん、熊本である。



富士見駅 10 時発の無料送迎バスに乗るため、あずさ 3 号 9:43 分着で十分に間に合うが、熊本は富士見駅で名物の野沢菜蕎麦を食べようと、一本早いスーパーあずさ 1 号新宿発 7:00 に乗り込んだ。

国分寺近くで車窓から富士山が綺麗に見えた。

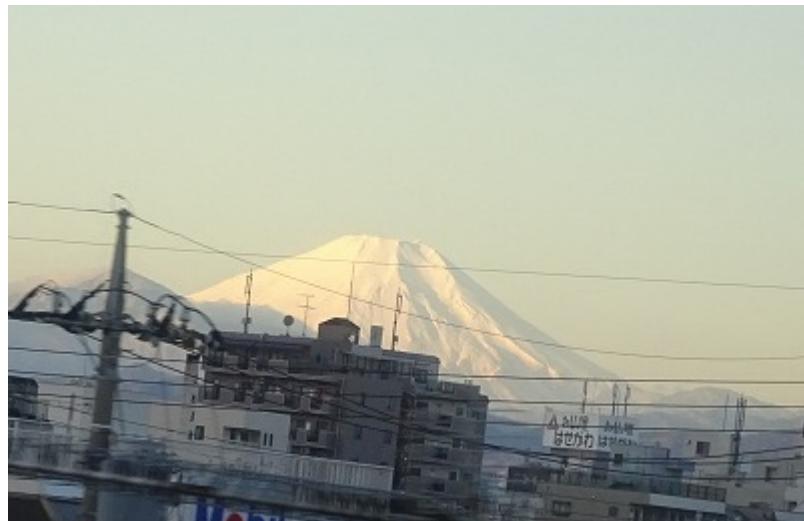
その時、堀さんから携帯に連絡が入った。

「日吉本町の電車時刻を間違えてあずさ 3 号に間に合わず、遅れます」

更に 1 時間後に再度メールが入った。

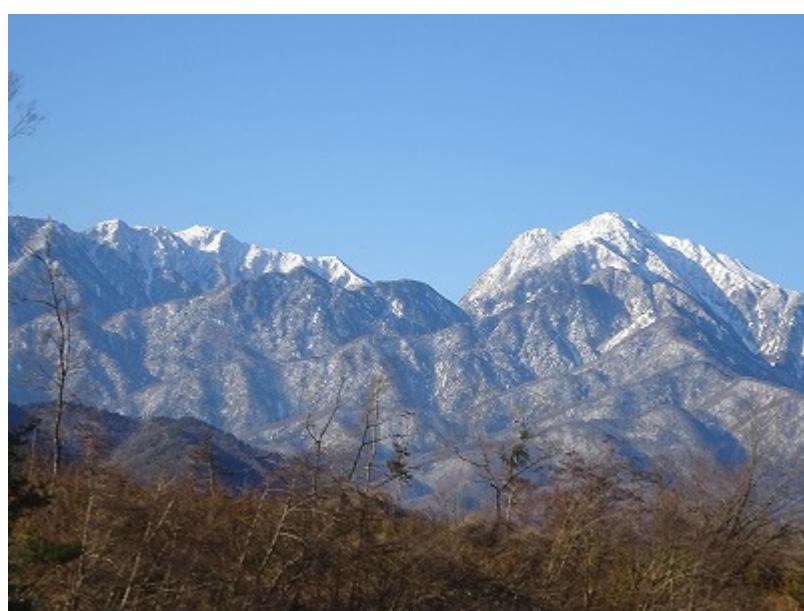
「次の特急は富士見に留まらないで、相当遅れるので入笠山はドタキャンし、石老山にでも登ります」 ですと。
やれやれ、今年も堀さんの迷走は健在か？

従って本日は 6 名となった。



甲府を過ぎて韁崎に近づくと、鳳凰三山や甲斐駒ヶ岳が迫ってくる。

左写真は甲斐駒ヶ岳（右）と北岳の山頂が覗いていた。

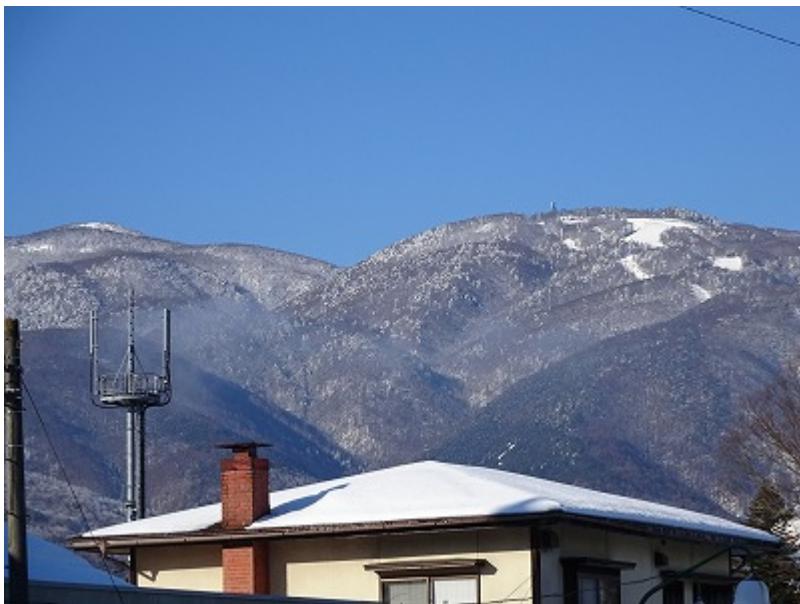




左の車窓からは八ヶ岳が雲一つなく青空に映えていた。
今日の入笠山頂からの展望は期待できそうで、心浮き立つ。



9:13 に富士見駅に到着。
他のメンバーは、あずさ 3号で来る。9:42 の全員の到着を待つ。



富士見駅で本日登る富士見パノラマスキ一場から入笠山を眺める。



10時発の無料送迎バスに乗り 10分でスキ一場に到着。

ゴンドラの往復券（¥1650）を購入し、今年最初の雪道に足を下す。

(10:15)



ゴンドラ乗場に向かう。

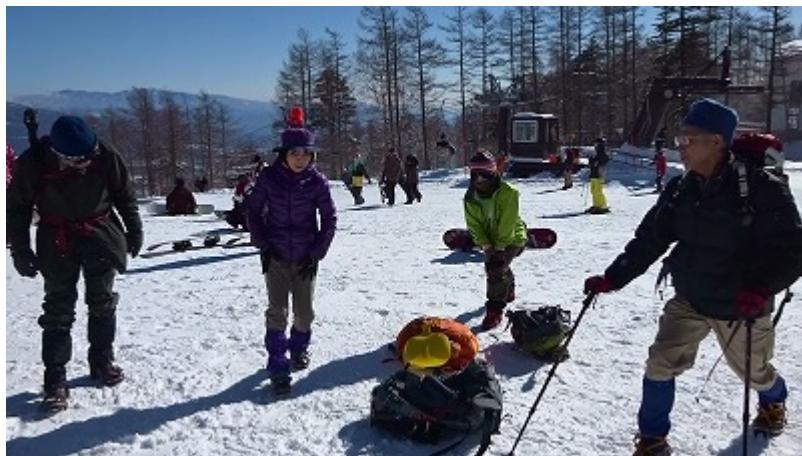
既に標高は 1050m ある。

ゴンドラで 1780m の山頂駅まで、
標高差 730m、距離で約 2.5Km を 10 分で
一気に上がる。



山頂駅でアイゼンを装着し、八ヶ岳を背景にスタートの写真を撮る。

濃紺の空が目にまぶしい。(10:45)



例によって、岡部さんの声に合わせてストレッチで準備体操して出発する。
スキーヤーはここから下に降りるが、
我々はここから上に登る。



行きは林道コース歩く。
今年は積雪が多く 1m 以上ありそうだ。
(10:52)



5分程歩き入笠湿原に下る (10:57)。



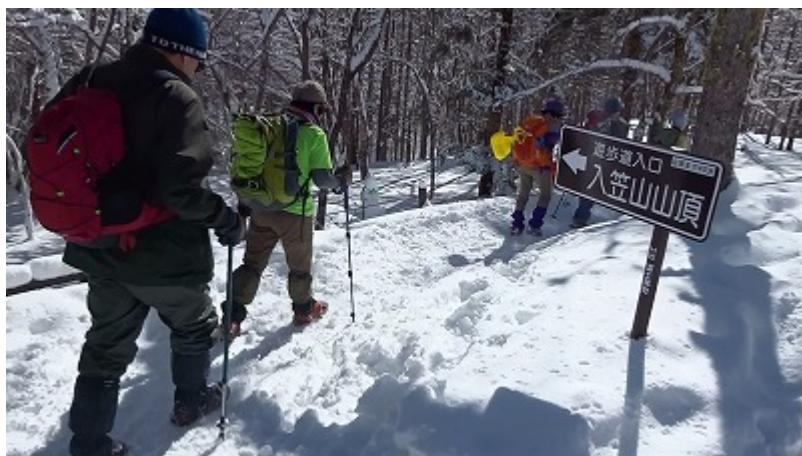
入笠湿原の手前で・・・

入笠湿原は標高 1734m で山頂駅から約 50m 下った。
ここから山頂まで標高差 200m の雪道登山道を登る。



湿原を横断し、山彦山荘の前で、一息入れる。

昔、山彦山荘の前にキバナアツモリソウを見たことを岡部さん、熊本が思い出した。
(11:05)



山彦山荘から 2, 3 分林道を歩くと、
左に入笠山頂への林間コース分岐があり、
林間コースを取る。



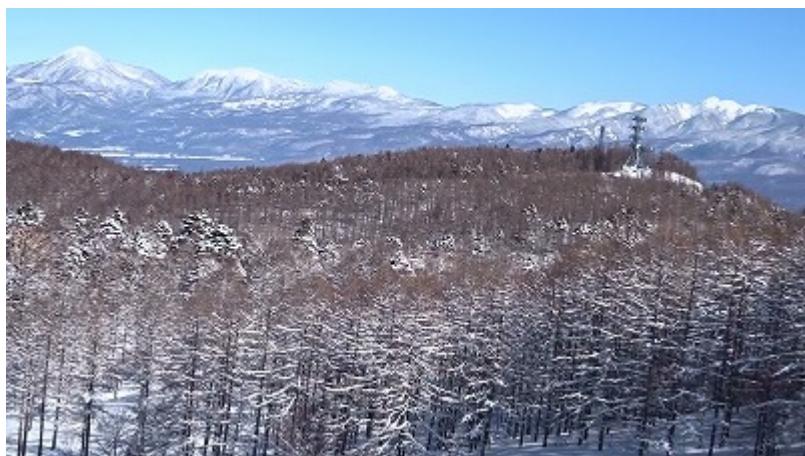
林間コースを 15 分程歩き、再び林道に入
り、登山口のマナスル山荘に向かう。



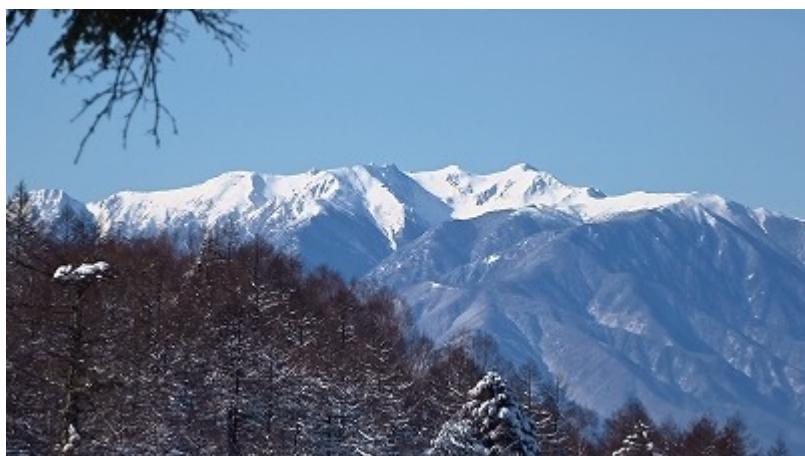
マナスル山荘の登山口でこれからの急登
に備え休憩。(11:20)



写真左端中央にマナスル山荘が見える。



5分登り後ろを振り返ると、霧氷の樹林帯の上に、南八から北八までが再び現れてきた。



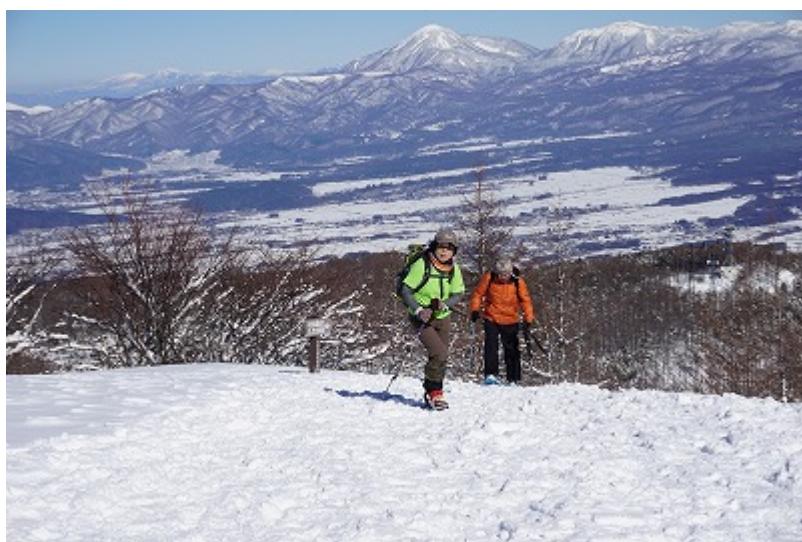
更に10分程高度を上げると、今度は右手方向の木の間から中央アルプスの木曽駒ヶ岳(右)とその左に宝剣岳が見えてきた。
(11:35)



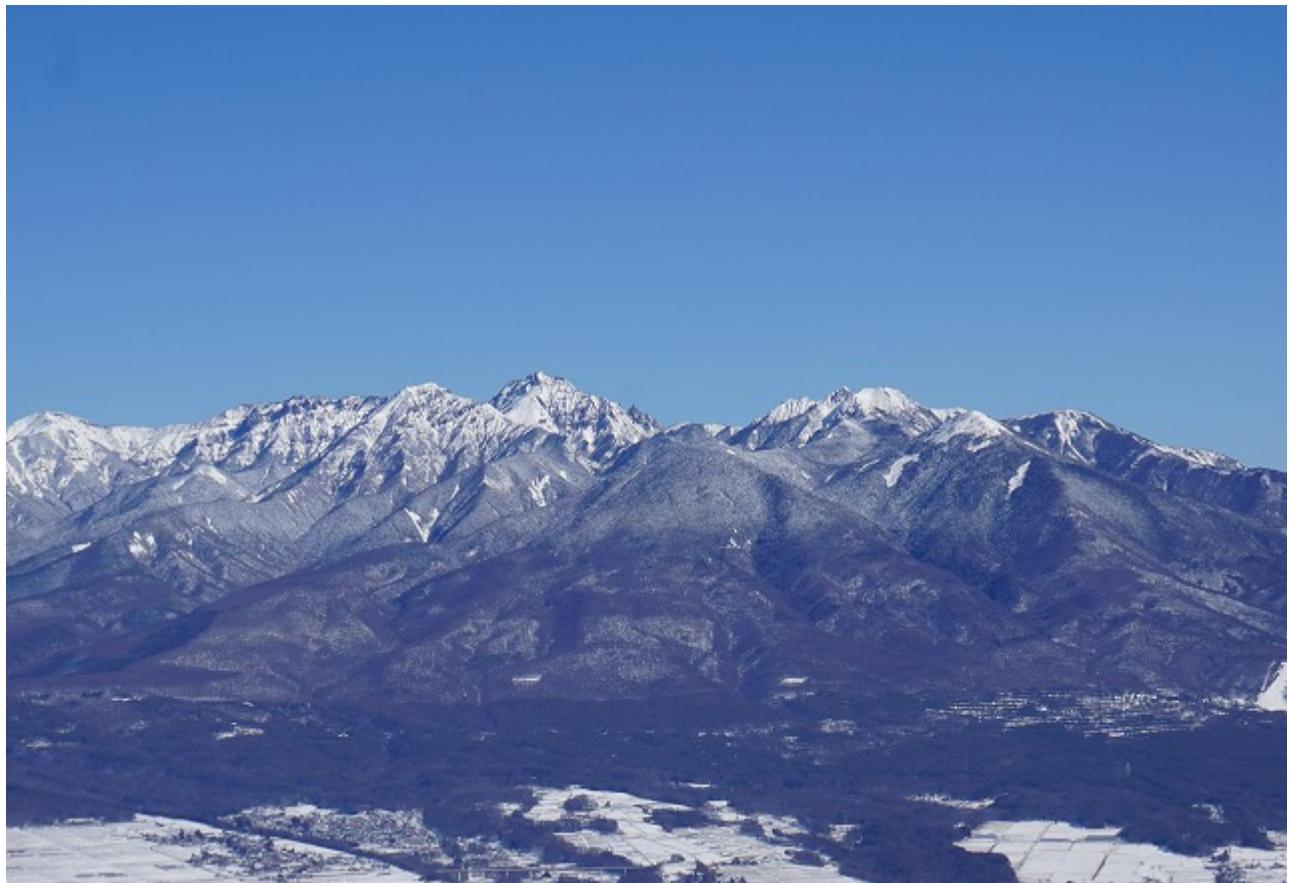
山頂を目指し、良く踏みしめられた雪道をひたすら登る。



後、ひと踏ん張りで山頂に着く。

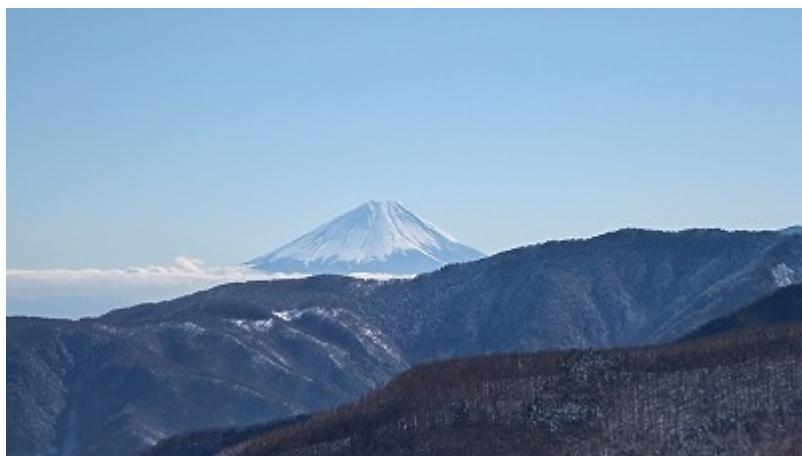


やっと、山頂に到着。(12:00)



山頂からは 360 度の展望で、全く雲がなく、遠くの稜線も鮮やかに見える。

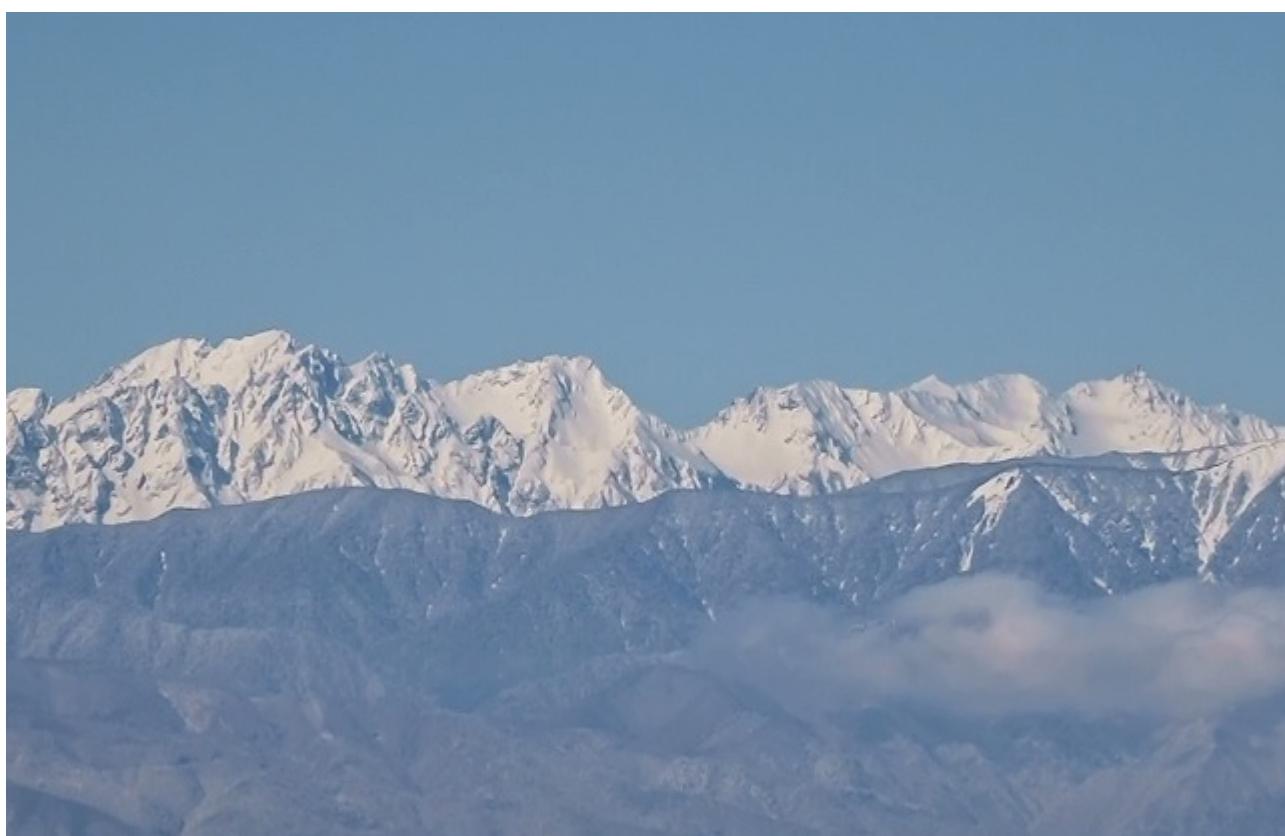
まず、正面に八ヶ岳だ。



甲斐駒ヶ岳の左側に富士山が雲海の上に
突き出ていた。



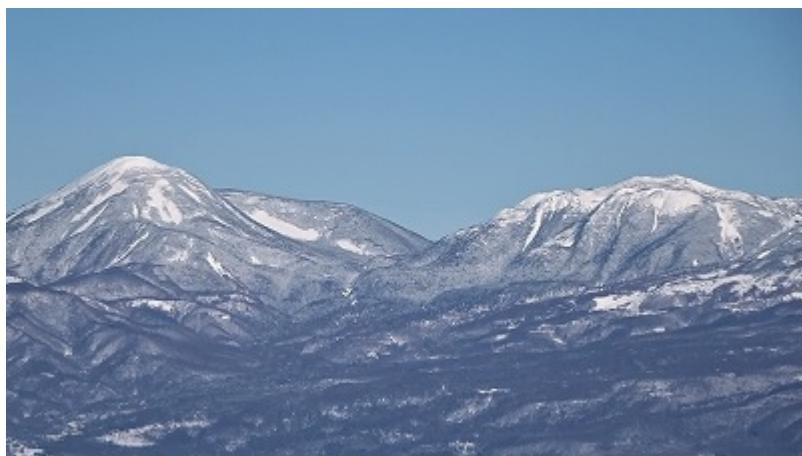
御嶽山は山頂から今なお、噴煙を上げていた。



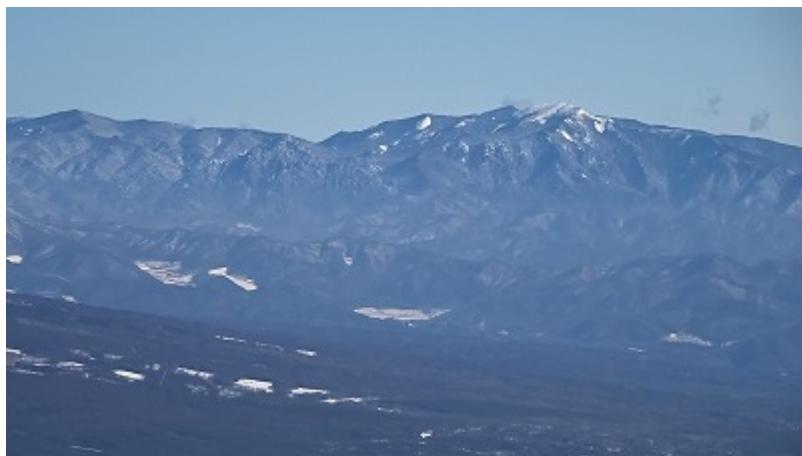
北アルプスも乗鞍から鹿島槍、白馬まで一望に見える。写真は穂高連邦（左端）から大キレット、そして右端に槍ヶ岳がクリアに見えた。



立山と剣岳



蓼科山と北横岳



金峰山（右）と瑞牆山（中央左）



360 度の展望を楽しんで、山頂から少し下ったところで、八ヶ岳を正面に見ながら昼食。(12:20)



山頂（1955m）で記念写真を撮る。



12:35 下山開始



下りの雪道は砂利や石ころを気にせず下れるので早い。



岡部さんは尻セードで一気に下る。



13:00 入笠湿原に戻ってきた。



湿原の標識が埋もれる位の深さだから 1m以上の積雪であろう。



入笠湿原を縦断し、往路の林道と異なり、今度は林間コースでゴンドラ山頂駅に向かう。



下りのゴンドラに乗ったら、熱いオシボリのサービスがあり、ビックリ！　これは嬉しかった。



ゴンドラ山麓駅から徒歩 15 分で、
日帰り温泉「ゆーとろん水神の湯」に着き、
ここで約 90 分の入浴休憩。
シニア料金は定額 800 円の半額であり、誰
とは言わないが 3 名程、この恩恵を受け
た。 (14:05)



入浴後、広間で、生ビールで今日の成果に
乾杯！



温泉の前で迎えのタクシーを待つ。
皆さん満足そうな笑顔だ！



予定通りあづさ 24 号に乗り、
自由席は空いていて、帰りも焼酎で一杯や
りながら帰路に着きました。

堀さんが参加できなかったのは残念だが、
雲一つない快晴で、山頂は思ったほどの風
はなく、360 度の展望に、
時間が経つのも忘れるくらい眺め、堪能し
ました。